

JEAS News

vol. **38**

2023 春号

つながる心が生む新世界・新会員紹介特集

☆なるほど!万引防
止・ロス対策情報は
JEAS Facebook



☆月2回定期配信
ロス対策メールマガ
ジン



～防犯民主主義実現に向けて～
EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会



* 感謝 総会員数が58の工業会となりました。*

認定個人情報保護団体

工業会 日本万引防止システム協会

JEAS News

第38号

目 次

EAS、カメラ分野を担当する工業会として	表紙裏
あいさつ 工業会日本万引防止システム協会 会長 稲本 義範	3
あいさつ 東京都立大学 法学部 教授 星 周一郎 様	4
JEAS 個人情報保護指針第3版と推奨顔認証システム店頭告知マークの発出	4
JEAS 特別セミナー（1）AI・犯罪等統計予測を明日の社業に如何に活かすか	5
JEAS 特別セミナー（2）AI 推進店舗向け「実地棚卸なるほど Q & A」	5
新会員 6 社あいさつ	5
セキュリティショー2023のブースとセミナー紹介	6
第2回科学保安講習会と第3回推奨顔認証システム認定＜マスク対応プラス＞を終えて	7
15分勉強会	7
シリーズ「変化・変容の時代に世のお役に立つ」（2）	
メガ大量万引完全阻止にむけて！ ～二つの公判より学ぶ～	7
海外から来られた新たな仲間（No.4）	8
JEAS & 万防 女性理事対談「LP その未来に向かって」	9
ロス対策士情報と J E A S 報奨制度について	9
工業会 日本万引防止システム協会のご案内	10
事務局長編集後記	10
工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧・組織図	11
工業会 日本万引防止システム協会 会員名簿一覧 ご相談窓口について	裏表紙

EAS、カメラ分野を担当する工業会として

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明
[分野：電子商品監視機器（EAS）、防犯カメラ] に関するお知らせ

- （1）2017年度税制改正により、中小・小規模事業者の「攻めの投資」を後押しするため、従来の産業競争力強化法に基づく「中小企業投資促進税制の上乗せ措置」を改組し、中小企業等経営強化法に基づく「中小企業経営強化税制」が創設されました。
- （2）また、中小企業等経営強化法に基づく「固定資産税の特例措置（地方税）」においても、対象設備細目が2017年4月1日から拡充されました。
- （3）当協会としては、ユーザー様及び会員の要望に応えるため、さらには「攻めの防犯」と「防犯民主主義」※を推進するために、2018年1月25日の理事会承認を経て2018年2月1日より本証明書の発行受付をスタートしました。
※「攻めの防犯」と「防犯民主主義」の説明 <http://www.jeas.gr.jp/pdf/20180307.pdf>
- （4）さらに、2017年度税制改革により中小企業等経営強化法と2018年度生産性向上特別措置法（新規取得設備の固定資産税が減額になる制度）の先端設備等に係る生産性向上要件の証明証が一本化されました。当協会の会員および会員外の設備メーカーも申請できますので、ご活用ください。
- （5）なお、中小企業経営強化税制につきましては、2025年3月末日まで延長される予定です。
詳しくは工業会ページをご参照ください。 <http://www.jeas.gr.jp/intro08.html>



JEAS Facebook も絶賛公開中！

<https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/>





いつも大変お世話になっております。新たな年が始まり、1ヵ月が過ぎました。お蔭さまで、平成14年設立のJEASは、平成30年には、経済産業省よりEASと防犯カメラ分野の工業会認定を受け、令和2年には個人情報保護委員会認定の認定個人情報保護団体となり、万引防止システム関連に従事するあらゆる企業が参画する総会員数58法人の産業団体に躍進しております。

昨年の主な活動は、6月の通常総会・記念講演会で、仙台大学体育学部准教授 田中智仁先生による“防犯システムと人的警備の融合”などの講演を企画しました。7月リテールテック OSAKA2022での出展とセミナー、さらには9月の第24回自動認識総合展と10月の危機管理産業展2022においてJEASセミナーを開催しました。研修面では、7月に基礎知識を学ぶ第7回JEAS講習会、11月に第2回科学保安講習会を開催したほか、理事会においても勉強会を実施することで、全会員に学びの場を提供しています。

機器の安全利用に関しては、9月に第3回推奨顔認証システム審査を実施しました。EASと医療機器との干渉試験を北海道大学大学院にて継続的に実施しています。それらのEAS機器25万台がロス対策の最前線で活躍しております。法令対応では、4月の改正個人情報保護法の施行に伴い、JEAS個人情報保護指針（第3版）を7月に改定し、8月に施行しました。それに併せJEAS推奨顔認証システム導入店の店頭告知マークを9月に発表し、皆様にご活用いただいております。

情報提供面では、JEAS公式ロス対策メルマガや公式フェイスブックの利用者が徐々に増えております。さらには産業界・社会の多様性と持続性のための企画として「海外から来られた新たな仲間」シリーズの継続、年末には「女性理事の座談会」を本紙で発表しました。

さて、最近の万引犯罪の状況ですが、我が国の万引検挙件数の令和2年から3年にかけて884件増加しています。昨年8月より集団窃盗が活発化しており地域や業種によっては高額万引が過去最悪のレベルになっております。昨年7月13日静岡県警の情報として、ベトナム人窃盗グループの万引き60件を検挙 12都県のドラッグストアで被害総額はおよそ770万円」というニュースが流れました。本年1月5日の広島県警の情報として、検挙した日本人二人組は昨年6月ごろ以降、各地のドラッグストアで漢方薬などが盗まれる同様の万引被害が多発。北海道や大阪、岡山、山口など14道府県で百数十件に上り、被害額は1千万円を超えるといわれています。

昨年5月20日三重県では三重県の男が、万引きした商品を換金して、当時の妻の口座に隠した疑いで追送検されました。万引きの総額は、10年間で1億円分にのぼるとみられています。このように10年もの長きにわたって繰り返し犯行を重ねることができたのは、チェーン店同士の連絡体制が無かったことが背景にあります。

福島県警や岐阜県警のように被害店舗を結ぶ万引防止のための緊急ネットワーク網がある地域では、早期の解決が図られています。民間においても個人情報保護法を順守した防犯情報共有サービス（例：EMLINX）が犯罪被害の拡大防止に寄与しております。昨年11月30日に開催された東京万引き防止官民合同会議の席上において、東京都や警視庁に対し、全国万防犯罪防止機構の竹花理事長（元東京都副知事、元警察庁生活安全局長）が緊急ネットワーク網整備等に向けての施策を進めていただくよう昨年の同会議に続き、今回も要請をされました。同様に各県警や各小売業団体においても我が事として捉え推進いただくことを願っております。

JEASにおいても、これらの万引状況を我が事として捉え、認証精度アップや本部での集中管理が可能になった顔認証システムの活用や緊急ネットワーク網の整備に尽力したいと考えております。

今後の予定ですが、2月28日～3月3日に東京ビッグサイトで開催される日経セキュリティショー2023のJEASブースでは会員各社の紹介をパネル展示、特別ステージでは「緊急指令！セルフレジ不正防止・レジ前万引を阻止せよ！」をお伝えする予定にしております。

6月2日開催の通常総会・記念講演では、ICT教育第1人者で宇宙エレベーターロボット競技会実行委員長の小林道夫先生（神奈川大学附属中・高等学校副校長）、「ITで流通を変える」を实践されている株式会社トライアルホールディングスのIT部門の御担当にご講演をお願いしました。会員の要望に応えるべくJEASはDXやAI分野への研鑽を開始しております。

JEASは、防犯民主主義実現の旗の下、EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会として、「万引犯罪をさせない店舗作り」の推進を通じて、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止や高齢者等の再犯防止という産業的、社会的役割を果たすべく、所轄官庁はじめ関連諸団体のご支援をいただきながら活動して参ります。引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



工業会 JEAS 事務所

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1
YOTSUYA TOWER 7F

● ごあいさつ ●

「新たな取り組み」をはじめるとき

東京都立大学 法学部
教授 星 周一郎 様



万引きなどをはじめとした窃盗は、交通事故とならんで、社会生活にとって「身近な」犯罪であることは、改めて述べるまでもありません。令和3（2021）年の一般刑法犯認知件数の約57万3千件のうち、窃盗の認知件数は約38万1千件であり、全体の2/3にも及んでいます。なお、交通事故の検挙件数も約28万9千件にものぼっています。

当然のことですが、犯罪に関しては、その犯罪者を適正に処罰することが必要です。しかし、かつて、「科学的証拠」が得られることが少なかった時代には、有罪立証には、嫌疑をかけられた者の「自白」に頼らざるを得ないところも多く、「自白だけでは有罪とされない」という法原則があるにもかかわらず、冤罪事件が生じたり、未解決のまま終わってしまう事件が生じたりすることも、残念ながら、決して稀なことではありませんでした。こういったことが望ましい事態でないことは、論を俟たないところです。

そこで、より正確な捜査手法を開発すべく、様々な工夫がされてきました。たとえば、犯行現場などから採取されたDNA型鑑定が捜査で使われるようになり、事件解決にとって大いに役立っていることは周知のとおりです。しかし、このDNA鑑定が捜査で一般的に用いられるようになったのは、わずか30年ほど前のことです。そしてその当初は、「血液型鑑定や指紋鑑定とは異なり、DNA型鑑定では、犯人の遺伝情報などが丸裸にされ、とんでもないプライバシー侵害に至る」といった懸念も、一部で主張されました。あるいは、これも現在では当然の捜査手法となっていますが、街頭防犯カメラが普及し、その映像が捜査で利用されることが本格化した20年ほど前には、「ジョージ・オーウェル『1984年』で描かれたビッグブラザーの監視社会の到来だ」といった類いの議論を耳にすることもありました。しかし現在、これらの懸念は、現実のものとなっているのでしょうか。

「得体の知れない事態」に直面した場合、それに対する恐怖・懸念が生ずるのは、人類が生き延びるために獲得していた本能的な反応のようです。実際、そういった警戒をするなかで、「得体の知れない事態」の実質が見極められるようになり、危害を及ぼすものではないことが確認されることで、理解・安心が共有され、それによって、社会が新たに発展してきたと言えるでしょう。科学・学問の発展も、そういった営為の積み重ねに裏づけられ、また裏づけてきたものだとも言えるかもしれません。その意味で、DNA型鑑定や街頭防犯カメラの普及に一定の懸念が生じたのは、当然の反応だったわけです。しかし、そういった新たな技術を用いることで、事件が適正に解決されるというメリットも同時に認められます。だからこそ、DNA型鑑定の人物の同一性確認以外に使わない、防犯カメラ映像を防犯目的以外には使わない、といった適正利用の実績を積み重ね、それを丁寧に説明し、その成果が社会一般に実感されることで、その理解が深まり、捜査手法として定着してきたのです。

また、社会の意識を変えるには、時には法的な対応をもってすることも必要になります。これも20年ほど前、東名高速道路で酩酊運転のトラックが生じさせた悲惨な事故をきっかけに危険運転致死傷罪が制定され、酒酔い運転、酒気帯び運転に関する道路交通法上の罰則が強化されたことにより、飲酒運転に対する社会の評価は大きく変わりました。それは、飲酒運転を原因とする交通事故が、この20年間で1/7にまで減少するという成果にもつながっています。

もちろん、より重要なのは、犯罪を未然に防止することでしょう。犯罪被害に遭わない、というだけではなく、犯罪者を生み出さないということも、その人にとってだけでなく、社会全体にとっても有益なことです。そのためには、技術、法律を駆使した対応が、さらに必要となってきます。そして、今後の構造的な人手不足社会の到来が不可避であることも踏まえ、顔識別機能付きカメラシステムやAIを用いた犯罪予測など、防犯の文脈でも、「自動化された新たな取り組み」に対するニーズは高まっていくことでしょう。他方で、こういった「得体の知れない技術」に対して、社会の中に懸念する声が生ずるのも、健全なことなのです。これまで同様、適正な運用に努め、そのような懸念が当たらないことを丁寧に説明し、誠実な対応で示していくことが重要となります。個人情報保護法などをめぐる新たな動きも、国民の代表者によって制定される法律という側面から、それを後押しするものとなっていくはずです。

これこそ、稲本会長が提唱される防犯民主主義の、一つの重要な顕れであると言えるのではないのでしょうか。犯罪に手を染めてしまう人を減少させ、犯罪不安を減少させ、私生活の利益が不当に制約されることのない安全・安心な社会の実現のために、JEASが果たす役割は、ますます大きくなっていくことでしょう。皆様方が果たされている社会貢献には、一人の市民として深く感謝し、また大いに期待を寄せるところです。

JEAS 個人情報保護指針第3版と推奨顔認証システム店頭告知マークの発出

■個人情報保護法の改正に伴い、法第54条に基づき当認定団体の保護指針 JEAS 個人情報保護指針（第3版）を7月8日（木）に改定し、8月1日（月）に施行しました。個人情報保護委員会の認定個人情報保護団体サイトの当該指針が更新され、当工業会の認定団体サイトも更新しました。

https://www.ppc.go.jp/files/pdf/48_jeas_shishin.pdf

■9月15日（木）推奨顔認証システム導入店の店頭告知マーク（別名：顔識別機能付きカメラ



JEAS 特別セミナー

■ (1) AI・犯罪等統計予測を明日の社業に如何に活かすか

12月13日(火) JEAS セミナー「AI・犯罪等統計予測を明日の社業に如何に活かすか」が開催されました。講師は一橋大学 ソーシャル・データサイエンス教育研究推進センター 特任助教の西颯人(にし はやと)先生が担当されました。講演動画等の情報は会員ページのc_32にあります。

データサイエンス的に犯罪の予防、対策に統計やAIを使おうという試みは、様々なところで行われていますが、神奈川県警では産官学連携による人工知能を活用した犯罪・交通事故発生予測技法の調査研究では実際に運用している段階です。

国内での「万引きの統計分析」についての研究論文のひとつは「どのような棚で万引きが起りやすいかを分析しているもの」と「陳列棚の配置を工夫することで万引きが減るか」というものがあります。こういった統計分析もAI(機械学習)で予測しようといった話もあるわけです。

機械学習も統計も基本的な原則は、モデルが学習すべきことが多いほど、データが非常に多く必要となります。重要なポイントは、万引きに関する知見がある人間の知見をAI、統計モデルに教え、それを加え学習させるというのが現実的だと思います。

空間的に万引きの発生を予測するための分析は、まず棚位置の商品、店舗(品揃えが共通といった店舗、地域という具合に下にいくほどマクロなカテゴリで、地図を遠くから見るようなカテゴリで変わってきます。これも重要なポイントで、事前に考慮しておく必要があります。

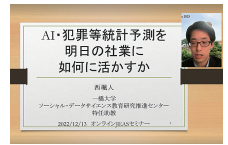
活用方法のイメージでは、コンビニだったら「あなたのお店は万引きリスクが高いですよ」、新しい施設が隣にできて「この施設ができると、リスクが高いかもしれませんよ」と警告するようなものです。

地域レベルでは地域特性、人口構成、アクセス性、施設立地などのメッシュで集計するようなもので、それにその地域で起きた万引きの件数などのデータを用い統計分析することで、どんな地域で万引きに警戒が必要か、あるいは万引きを抑制するにはどういった介入をすべきかが予測に基づいて決めることになります。

活用とひと言で言っても、現象(万引きの発生)の説明なのか予測なのかで変わってきます。前者の場合は統計分析になり、予測の場合は機械学習を使うことになるかもしれません。

一番申し上げたいことは「AIにすべてをゆだねることはできない」ということです。数多くのことをAIにやらせようすると学習させるために大量のデータが必要になります。犯罪予測の研究でもよく言われていますが、日本は欧米諸国と比べると、比較的治安がよくデータが少ないこともあり、データにすべてを依存しているAI、統計を活用して何かを行おうとするのは非常に難しいです。ですから人間、つまり現場の店員さんや万引き犯罪の防止にかかわってきた方々が知見を活かして、AIをサポートしてあげないと効果的に活用はできないということです。

講演録 <https://www.jeas.gr.jp/pdf/20230412.pdf>



■ (2) AI推進店舗向け「実地棚卸なるほどQ & A」

1月18日(水) 15:00~17:00にJEAS オンライン特別セミナー AI推進店舗向け「実地棚卸なるほどQ & A」を開催しました。講演動画等の情報は会員ページのc_33にあります。

講演動画 <https://youtu.be/Qb13KibsJWA>

(2) 実地棚卸の重要性

実地棚卸とは「事実を調査し、それを具体的に数値という形で知る」ということです。
 ※調査した結果が事実ではなく誤りな数値なら正しい経営判断はできない
 作業として見た実地棚卸は、商品の数値を正確に数えて記録集計するといった一見単純な作業でもないようなことが、その役割は経営上、非常に重要な業務である

重要なのは「誰が正しいか」ではなく「何が正しいか」です。つまり正しい数値にそれが経営に与える「価値」がなくてはならないのです。そして数値を正確に集計するための重要な要素のひとつが、正しい実地棚卸を行うことです。(実地棚卸はQ&A本文より)



新規正会員あいさつ



株式会社アジラ 製品企画部ゼネラルマネージャー 山下 勝也

株式会社アジラは、2015年に日本人とベトナム人によって共同設立、行動認識AIにおいて世界有数の技術を持つスタートアップです。

既存のカメラシステムをAI化できる施設向けAI警備システム「アジラ」を提供しており、カメラ映像の中から、異常行動(転倒、卒倒、破壊行動)や不審行動(ふらつき、違和感行動)を検出し瞬時に通知することができ、見逃しや見落としも無くすることができます。また、導入後数日間で防犯カメラに映る人々の行動を自ら学習し、それらの行動から外れた行動(うろろう、挙動不審動作など)を「違和感行動」として検知でき、事件や事故が発生する前の予兆行動をも捉えることができ事故の予防にも寄与します。



ネクストウェア株式会社

ネクストウェア株式会社 代表取締役社長 豊田 崇克

ネクストウェアは、顔認証や秘密分散、RPAなど最先端のデジタル技術を駆使して様々な分野でのデジタル化をご支援しています。

弊社が取り扱う当協会推奨顔認証システム「SAFR」は、認識精度・スピードともに世界最高水準となっており、入退室管理や属性取得を用いたマーケティング、既存のシステムやサービスとの連携など様々な場面で顔認証を活用できます。

また、万引防止の点においては、事前に要注意人物を登録することで、再来店時に検知しアラートを通知することができるため、再犯の防止対策に繋げることが可能となります。

業界問わず大手企業から中小企業まで、豊富な導入実績で培ってきたノウハウを活かし、お客様へ新しい価値を提供させていただきます。

<https://www.nextware.co.jp/>



アルシスデータ株式会社 取締役 砂川 和雅

弊社は、ハードウェアの光学的なぼやけを改善して画像を高画質化する技術を研究開発する企業です。昨今、監視カメラや産業カメラへの採用が進み、万引防止や犯罪の兆候検知・抑止に応用が可能となりました。

当社技術の特長は、工業会万引防止システム協会及び会員メンバー各位が保有しておられる製品やサービスの性能向上や、ソリューションへの応用ができる点にあると考えています。

昨今では、鮮鋭化データによる機械学習への応用研究もスタートしております。

皆様と協業の機会を創出し、社会的価値である安心安全な社会の実現と、経済的価値の両立を目指していきたく考えておりますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

新規賛助会員あいさつ



株式会社 NICCO 取締役会長 日南 休 実

弊社は創業以来クレンリネスを中心としたビル管理会社として技術、経験、実績を積み重ねてまいりました。「快適環境をお客様視点で実現します」を理念とし、クレンリネスプランだけでなく多角的にお客様のお役に立ち、ニーズにお応えできる力を蓄えてきました。その理念の下グループ会社である(株)NICCO サポートは警備業界に参入し、お客様の安全安心を確立する為防犯のプロフェッショナル（セキュリティコンサルタント）が防犯対策、ロス対策を弊社独自にシステム化した「セキュリティマーチャンダイジング（SMD）」でお応えいたします。

Secure Link 株式会社 セキュアリンク株式会社 代表取締役 藤本 典志

セキュアリンク株式会社は、「Wi-Fi AI での見守り」と「特許技術での屋内予測」を主幹事業としています。Wi-Fi AI では、B to B 向けに、Wi-Fi の波紋で動きの量、呼吸数、眠りの量、眠りの質を定量化し、独自の AI とアルゴリズムで見守り事業に応用しています。

予測事業では、商業施設向けに、特許技術と AI、機械学習、ディープラーニングなどで、故障や事故などのアクシデントを予測し、企業損失の低減に応用しています。

我々は安心創造企業として、社会に貢献し続けます。

新規特別会員あいさつ



一般社団法人ロスプリベンション協会 代表理事 秋元 初心

この度特別会員への推薦をいただきました、一般社団法人ロスプリベンション協会と申します。皆様のように実業に従事されている方々と、一緒に活動を共にできる機会を与えていただき、工業会日本万引防止システム協会の稲本義範会長はじめ皆様には感謝をしています。

私どもは経営コンサルタントが中心となり、ロスプリに関係する会員が集まって、2010年に設立した団体です。当協会の取組としては、商品ロスの削減を通じて売上原価に内在する「眠れる金脈」を発掘するために、各種のコンサルテーションを提供することで、小売業の皆様の利益改善に寄与することを目的としています。

この活動の中で、各種の防犯機器についても見識を広げる必要を痛感していますので、今回皆様からご指導・ご鞭撻を頂けると幸いです。

セキュリティショー2023の JEAS ブースとセミナー紹介

セキュリティショー2023年2月28日（火）～3月3日（金）東京ビッグサイト東3ホール SS3129に出展し、各社の商品・サービス紹介をします。

2月28日（火）13:30～14:30 JEAS セミナー「緊急指令！セルフレジ不正防止・レジ前万引を阻止せよ！」です。

内容：セルフレジの普及が進んでいます。それに伴い処理ミス、さらには不正処理や万引を招くようになっています。ロス対策教育の第一者である当工業会の近江副会長が司会を担当し、会員がハード面とソフト面の対策事例を紹介します。

登壇者：日本 NCR マーケティング本部マネージャー 井上 謙二氏
アースアイズ 代表取締役 山内 三郎氏
高千穂交易 リテールソリューション事業部 平尾 潤氏

セミナー申込み



第2回科学保安講習会と第3回推奨顔認証システム認定<マスク対応プラス>を終えて

11月18日（金）第2回科学保安講習会開催を開催しました。会場だけでなくオンラインで各地から参加がありました。講習会の冒頭で第3回推奨顔認証交付式あり、リアルネットワークス（株）の AI 顔認証ソフトウェア SAFR®（セイファー）3.10が認定されました。

JEAS 画像安全利活用*警備全国 MAP 2022年度版 <https://www.jeas.gr.jp/pdf/20221222.pdf>



当日の様子

15分勉強会

- 9月9日（金）「中小企業向け最新サイバーセキュリティ対策」をCSP社より行っていただきました。
- 12月9日（金）消費者庁企画官（公益通報担当）和瀬幸太様より『組織の不正を未然に防止！通報者も企業も守る「公益通報者保護制度」』について、ご説明いただきました。資料は会員ページのd_34にあります。
- 2月3日（金）はパトライト社の村上敦氏と井出哲広氏に最新システムとその運用についてお話しいただきました。資料は会員ページのd_35にあります。

シリーズ「変化・変容の時代に世のお役に立つ」（2）

メガ大量万引完全阻止にむけて！ ～二つの公判より学ぶ～

エム・ケー・パビック株式会社

取締役 田崎卓哉氏

*** 変容する市場環境の中で、各社の経営努力を実録から学び、後進に伝える企画を開始しました。***

2つのメガ万引き事件

① 京都府警城陽署により検挙に至った家電量販店連続万引き事件

事件の内容

2021年7月13日40代無職の男が京都府城陽市の大手家電量販店において家電製品46,408円相当を万引きしたとして京都府警城陽署により逮捕された。男所有の軽自動車を捜査したところ破壊された大量の防犯タグが見つかり、その後の家宅捜索によって自宅や貸し倉庫などから発見されたものと合わせ1,669個もの破壊された防犯タグが見つかった。この防犯タグが万引き被害品につけられていたものであるならば、立件された3件の万引き事件被害平均額から推定すると2,500万円を超える被害金額となる。

裁判の中で明らかとなった事件の動機

内縁の妻にいい恰好したかった。そのためには1か月100万円程度の生活費が必要だった。万引き行為を始めたころうまく成功したため、どんどんとエスカレートしていった。初めての万引きは令和2年の10月頃。

裁判の中で明らかとなった事件の手口

次なる被害に繋がるため詳細な手段は公には出来ないが、ある特定の手段で防犯タグを無効化して防犯タグごと商品を店外へ持ち出し、取り外した防犯タグを破壊して警報を止めた。盗品については、一部を個人使用し、その他はネット販売を行なうブローカーに買い取ってもらい現金化した。過去に微罪処分とされたのか、処罰は受けていないものの万引きでつかまったことがある。

裁判官の判断

初犯であり、被害についても処罰感情の高い被害店舗には弁償を拒否されたものの、一部の被害店舗には弁償を行ない贖罪している。事件後についた仕事も真面目に勤めており、更生の意欲も見えて取れる。懲役2年執行猶予4年

② 三重県警津署により検挙に至った家電量販店連続万引き事件

事件の内容

2021年8月、無職50代の男が大手家電量販店において高額なイヤホンやヘッドホンなど、合わせて108万円余りを万引きし逮捕された。換金しようと持ち込んでいた名古屋市内の質屋との取引履歴を調査したところ、過去10年間に渡る転売事実があり、現金化した盗品の被害総額は1億円を超える。万引きは10年以上におよび18府県にまで手を広げていた。また、万引きで得た金を妻の口座に隠したとして約7,000万円が名古屋国税局に課税通報されている。「万引き」ではなく「億引き」事件として報道された。

裁判の中で明らかとなった事件の動機

子供たちに不自由なく裕福な生活をさせたかった。ローンで購入した自宅や高級ミニバン2台の支払い費用や大学生の子供の学費までも万引きで得た現金で充当していた。万引き行為を始めたころうまく成功したため、どんどんとエスカレートしていった。

裁判の中で明らかとなった事件の手口

20年ほど前に同様の事件を起こし執行猶予付きの有罪となったが、その後に就職した会社の給料が少ないことに嫌気が差して退職、パチプロ生活をつづけながら再び同様の事件を起こした。美顔器やワイヤレスイヤホンなど換金率が高く盗みやすい小型の高級家電を狙い、防犯カメラの死角に潜り込み、パッケージに巻かれた防犯タグを外し、カバン等に詰め込んで店外へ持ち出した。

裁判官の判断

実刑も視野に入る事案であるが、被害についても処罰感情の高い被害店舗には弁償を拒否されたものの、一部の被害店舗には弁償を行ない贖罪している。同種前科は相当古く、正業に就いて更生する意欲をみせている。懲役2年2月執行猶予5年

2つの事件の動機についての共通点

貧しい母親が子供たちの空腹を満たすためにあんぱんを1個を万引きした真に情状を酌量されるべき動機とは異なり、両事件ともに無職の男が働かず裕福な生活をおくりたいという極めて身勝手な動機による再犯事件である。また、現金の入手を目的とし換金率が高く盗みやすい小型の商品をターゲットとしており、盗品の殆どはネットブローカーや質屋に直ちに転売するといった悪質極まりない犯行である。万引きに手を染め始めたころの成功体験から犯行の様子がどんどんとエスカレートしていき、結果的に「メガ万引き」や「億

引き」と呼ばれる高額被害となった。

2つの事件の公判にて分かった問題点

両事件ともに状況証拠から1,000件を超える万引き被害が疑われる中、長時間に渡る各警察署の努力もむなしく、京都の事件では3件の被害額46,408円、三重の事件では11件の被害額108万円のみしか立件に至っておらず、警察の事件捜査がいかに難しいものかがわかる結果となった。にもかかわらず、その後の裁判所における公判では立件された事件のみの審理となり結果的に実被害額からは考えられない軽い量刑となった。被告弁護人が公判の中で口にした「窃盗事件の中でも最も軽い“万引き”」という言葉や、両事件ともに立件された分のみ被害店舗へ被害金弁償したことで贖罪が済んでいるとして情状を酌量した裁判官判断から見て取れるよう検察、判事、弁護士、法に関わる人たちの「万引き」に対する認識が非常に軽く、被害者の気持ちは全く考慮に入れられておらず、万引き事件の再犯率が高い理由のひとつとなっているような気がしました。

巨額の被害を受ける前に

2つの事件のような巨額な被害となる連続大量万引きも必ず1回目2回目があります。両事件ともに成功体験が次の犯行へと繋がっています。早期に事件が発覚し検挙されていれば、盗品を換金してその金で贅沢な暮らしをしようなどと思いつきもしなかっただろうと思います。法律家から見れば「たかが万引き」なのだろうと思います。被害を受けるお店側の方々も、「万引き」が軽微な犯罪などと考えることなく、防犯タグを取り外して（開錠・破錠）して、お店へ「侵入」し、万引き「窃盗」を行なう重大な事件であることを意識し、事件発覚の際は必ず警察に届け出ること、その後の裁判の中で情状酌量の理由となる被告や被告弁護人からの示談交渉に応じることなく徹底した毅然たる態度をとることが重要であると思います。防犯対策についても万引き防止ゲートや店内監視カメラなどの防犯機器を取り付けたから大丈夫と油断は禁物です、万引き犯は防犯対策の裏をかいた手口で狙っています。店員様による積極的な挨拶やお声がけ、死角の少ない売り場づくりなど、万引き犯が実行に移しにくい店内環境を作らなければなりません。また、現金化目的の万引きを助長するネットオークションや盗品買い取り業者に対しても何らかの法的規制が必要と考えられます。

最後に、万引き犯が重罰に処されるとされる条件について列記いたします。

- ① 犯行の動機・目的が転売目的である
- ② 複数人で見張り役、目隠し役、実行役を分担するなど、態様が計画的で悪質ある
- ③ 万引きの前科や前歴がある
- ④ 店内で店員に発見されたが犯行を認めずに走って逃亡した
- ⑤ 被害品の返還も弁償もない
- ⑥ 被害者である店舗側が厳重な処罰を強く希望している



海外から来られた新たな仲間（No.4）

「業界で活躍する女性の紹介」は、現在までに10人の方々をご紹介いたしました。新たに「海外から来られた新たな仲間」を開始しており、今回は4人目の紹介をします。まだまだ日本社会は多様性（ひいては持続性）に関し寛容でない部分が散見されます。それを改善するための企画です。

株式会社キャトルプラン 東京本社 海外購買部 バイヤー

李 宜庭さん（Lee Yi Ting） 1984年生まれ 台湾出身

<日本に来るきっかけ>

2013年28歳のとき、ワーキングホリデーを利用し来日しました。知り合いの紹介で当社にバイトで働きはじめたところ、正社員の話を当社の佐藤社長からいただき、就労ビザに切り替え、海外購買の担当をさせていただいております。

<日本に来てよかったこと・残念なこと>

① SMAPの大ファンということもあり、日本に憧れていました。28歳のとき、日本に来る夢を実現したこと。②佐藤社長の紹介で夫に出会えたこと。③娘が生まれたこと。いま3歳です。残念なことは税金・年金が高いことです。

<仕事上の苦勞>

円安なので仕入れ値がかなり上がっていることです。海外の仕入先には、「今回の販売先は、大きなチェーンなので、これから発注量が大きく増えると思います。」という感じで状況を丁寧に説明し、相手の理解を得ながら価格交渉を行っております。職場の方々にはいつも助けてもらっています。

<生きがいや趣味>

子育てです。巨人ファンなので夫とビールを飲みながらの観戦はストレス解消になっています。

<私の夢>

マイホームを持ち、いつか台湾に住む母を呼び寄せることです。もう一つは平和です。台湾・日本・中国・東南アジアなど、出会った方々は良い人ばかりです。民間交流を続けることでさらに仲良くなって、戦争の準備なんかしない世界になって欲しいと願っています。

<日本人へのアドバイス（助言）>

良さでもあると思いますが、若い方が遠慮がちです。夢を実現するために、自分の意見を言い、行動を起こすことが大切だと思います。佐藤社長のように、言葉が通じなくても気持ちを海外の相手に伝えることができる日本人います。身近なところにお手本がいますよ。Open Your Heart！

<これから日本で仕事をする海外の方々へのアドバイス（助言）>



「自分の国はこうではなかった。前の環境と違う。」ということもあるでしょうが、新たな環境にゼロベースで取り組んでください。気づくと新たな発見・真の友人が得られると思います。

コピー・転用不可

「海外から来られた新たな仲間」

万引防止システムの業界には、海外から来日された方々、帰化された方々がいっぱいいます。互いの相互理解を深めることで、温かな人間関係作り、生産性向上、その先にある社会の持続的再生産に貢献したいと思います。万引対策等の防犯活動の現場または支援活動の中で活躍されている海外から来られた新たな仲間を紹介いただきたく、お願い致します。

工業会 日本万引防止システム協会 総務委員会

JEAS & 万防 女性理事対談「LP その未来に向かって」

JEAS & 万防 女性理事対談「LP その未来に向かって」が、セキュリティ産業新聞2022年12月25日号 JEAS & 万防 女性理事対談「LP その未来に向かって」掲載されました。示唆に富んだ内容なので、あらゆる年代の皆様に読んでいただきたいと思います。

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20221225.pdf>



参加者

JEAS 理事 上野 順子氏 NECソリューションイノベータ株式会社

JEAS 理事 桑原 春奈氏 株式会社 GeoVision (ジオビジョン)

万防 理事 豊川 奈帆氏 株式会社ウェリカジャパン
司会：野口 祥子氏 高千穂交易株式会社



ロス対策士情報とJEAS報奨制度について ～各分野で活躍するロス対策士～

副会長・総務委員長 近江 元

万引犯罪を含むロス対策は小売業の問題にとどまらず、高齢者の万引の増加や大量窃盗、集団窃盗の発生など社会的な問題として深刻化しつつあります。

全国万引犯罪防止機構が昨年7月よりスタートさせたロス対策士検定試験制度は、万引犯罪、内部不正、業務上のエラーなどを含む不明ロスについての実務的な知識を身に付けることを目的としたものです。

今までに小売業、JEAS会員など500名以上がロス対策士の資格者となり、各分野でロス対策に取り組み始めています。

さて、JEASでは、ロス対策士検定試験の受験を促進するためにJEAS会員企業に所属する資格試験合格者の方々への褒賞制度(図書カード進呈)を設けております。

是非とも一人でも多くの方々がこの資格を得て、主要な顧客である小売業、特にチェーンストア企業に対して、ソリューションとしてのサービス提供につなげていただきたいと思います。

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20220810.pdf>

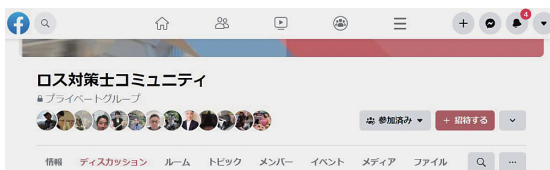


ロス対策士検定試験は年3回予定されており、今年度は次回5月に予定されています。詳細は、以下全国万引犯罪防止機構のホームページをご覧ください。

<https://www.manboukikou.jp/exam-about/>

お問い合わせは lpj@manboukikou.jp まで

☆新たな知識と情報を共有に向け、フェイスブックにてロス対策士のための専用コミュニティを立ち上げ、好評です！フェイスブック上で「ロス対策士コミュニティ」と検索ください。



工業会 日本万引防止システム協会のご案内

工業会 日本万引防止システム協会は、EAS 機器等の万引防止システムを製造・販売する企業の業界団体であり、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止という産業的・社会的役割を果たすべく、行政機関、関連業界団体とともに連携をとり活動しています。

■目的

本会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために、万引防止システムの円滑な普及・発展に資する制度・政策・計画等の建議と実行、行政機関・関連業界団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整、万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とする。

■会員の種別

(1) 正会員

本会の目的に賛同して入会した次の企業および団体とする

●万引防止システム製造ないし販売している企業および団体

●今後、万引防止システムを販売ないし提供しようとする企業および団体

●万引防止に関連するサービスを提供する業界（警備業等）や関連業界（防犯カメラ設備等）に属する企業など

●万引防止システムを販売ないし提供する企業に対し商品や部品の供給事業を行う企業および団体

(2) 賛助会員

本会の事業を賛助するために入会した次の企業および団体とする

●小売業に商品供給しているメーカーおよび物流企業

●小売業にサービスを提供している企業および団体

(3) 特別会員

本会の目的に賛同し、協力をする団体会員

■会費（2019年6月6日改訂）

	年間売上金額	年間会費 万円
正会員 ①	40億円以上	33
②	20億円以上、40億円未満	28
③	10億円以上、20億円未満	22
④	5億円以上、10億円未満	17
⑤	3億円以上、5億円未満	13
⑥	1億円以上、3億円未満	11
⑦	1億円未満	9
賛助会員		4
特別会員		無料

基本は内部不正対策などを含むロス対策に関わるシステム販売の年間国内売上に応じた年間会費とする。

■入会条件、入会申し込みはこちらのサイトをご確認ください。

<http://www.jeas.gr.jp/intro06.html>

新規入会企業および団体を募っています。

◎万引防止システムを製造ないし販売している企業の皆様

◎万引防止対策を担当している警備業や防犯カメラ設備に属する企業の皆様



編集後記・事務局だより

昨年は、スポーツでは、冬季オリンピックでの最多メダルからはじまり、大谷選手の104年ぶりとなる2桁勝利&2桁本塁打、「村神様」が流行語になった村上選手の56本塁打・史上最年少での三冠王、サッカー W 杯でのサムライブルーの活躍など、1年にわたり様々な話題がありました。

本年は、野球の WBC やサッカー女子 W 杯、桜戦士によるラグビー W 杯など予定されており、日本代表選手の活躍が楽しみです。

当工業会においても、会員企業の総意・代表として、今までの常識にとらわれることなく、常に、ユーザー様の安心・安全のための活動ができればと祈念します。

理事・事務局長 田丸典億

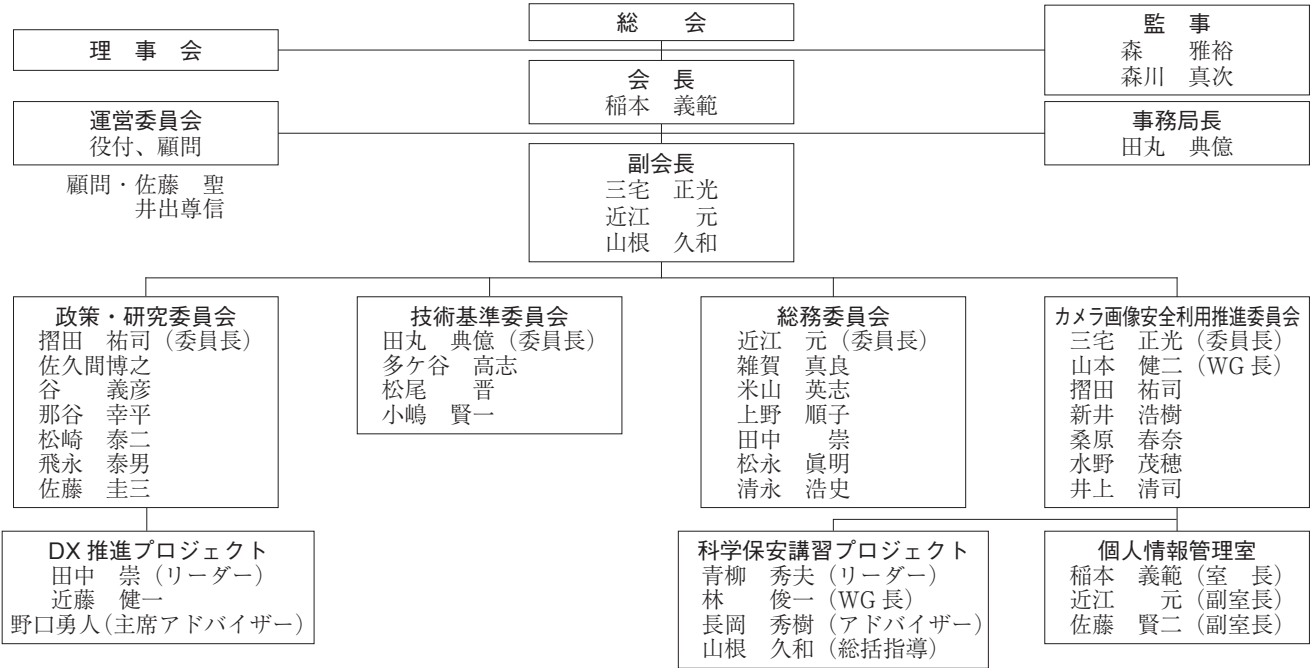
令和4年度 工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧

No.	工業会役職	社名・団体名	役職名	氏名
1	会長	高千穂交易（株）	事業開発室上席コンサルタント	稲本義範
2	副会長	（株） 三宅	代表取締役社長	三宅正光
3	副会長	NPO 法人 全国万引犯罪防止機構	理事 LP 教育制度作成委員長	近江 元
4	副会長	セフト HD（株）	代表取締役社長	山根久和 （新任）
5	理事 （政策・研究委員会）	IDEC ファクトリーソリューションズ（株）	セールスマーケティング本部 EAS 事業部 部長	谷 義彦
6	理事 （政策・研究委員会）	キャトルプラン（株）	代表取締役社長	佐藤圭三
7	理事 （政策・研究委員会）	（株） セキュリティデザイン	執行役員 営業本部 副本部長	那谷幸平
8	理事 （政策・研究委員会）	（株） 店舗ブランニング	代表取締役	飛永泰男
9	理事 （政策・研究委員会）	日本電気（株）	関東甲信越支社 産業第二営業部	摺田祐司
10	理事 （政策・研究委員会）	ビブリオテカ・ジャパン（株）	営業部部長	松崎泰二
11	理事 （総務委員会）	マイティキューブ（株）	代表取締役社長	本川勝広
12	理事 （総務委員会）	（株） オカムラ	商環境事業本部 セールスサポート部	雑賀真良
13	理事 （総務委員会）	（株） エイジス	新規事業推進室長	米山英志
14	理事 （総務委員会）	NECソリューションイノベータ（株）	九州支社第二グループ みらいデザイングループ 主任	上野順子
15	理事 （事務局長、技術基準 委員会）	タカヤ（株）	事業開発本部RF事業部 営業部SS担当マネージャー	田丸典億
16	理事 （カメラ画像安全利用 推進委員会）	グローリー（株）	国内カンパニー営業本部画像認識ソリューション推進 統括部 生体・画像認識販売企画部 販売企画グルー プ グループマネージャー	山本健二
17	理事 （カメラ画像安全利用 推進委員会）	（株） GeoVision	企画営業部チーフ	桑原春奈
18	理事 （個人情報管理室）	（株） ゴジョウ・ウェイズ	代表取締役社長	佐藤賢二
	監事	Matsuo Sangyo（株）	執行役員統括部長	森 雅裕
	監事	アクシスコミュニケーションズ（株）	シニアアカウントマネージャー（リテール）	森川真次 （新任）

敬称略・順不同

顧問 佐藤 聖（一財）流通システム開発センター 元調査部長、井出尊信 高千穂交易（株）代表取締役社長

令和4年度 工業会 日本万引防止システム協会 組織図



ロス対策・パラダイムシフト つながる心が生む新世界

～ 防犯民主主義実現に向けて ～
EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会
工業会 日本万引防止システム協会

正会員

(正会員数 38社)

アイアンドティテック(株)
IDECファクトリーソリューションズ(株)
AWL(株)
アクシスコミュニケーションズ(株)
アースアイズ(株)
(株)アジラ
アドセック(株)
アルシスデータ(株)
(株)エイジス
NECソリューションイノベータ(株)
エム・ケー・パピック(株)
(株)オカムラ
(株)キャトルプラン
(株)杏林社
グローリー(株)
(株)ゴジョウ・ウェイズ
(株)KSM
サクサ(株)
(株)セキュリティデザイン

CIA(株)
(株)GeoVision
シグマ(株)
セコム(株)
セフトHD(株)
高千穂交易(株)
タカヤ(株)
チェックポイントジャパン(株)
(株)店舗プランニング
日本NCR(株)
日本電気(株)
ネクストウェア(株)
パナソニック コネクト(株)
富士通フロンテック(株)
ビブリオテカ・ジャパン(株)
マイティキューブ(株)
Matsuo Sangyo(株)
(株)三宅
リアルネットワークス(株)

賛助会員

(株)アスラボ
垂細垂印刷(株)
サニーヘルス(株)
(株)JSS
(株)自己啓発協会
(株)セキュアリンク
三愛化成商事(株)
チェスコムアドバンス(株)
(株)NICCOサポート
(株)日本保安
丸紅(株)
(株)ロケット

特別会員

公益社団法人 日本防犯設備協会
一般社団法人 日本自動認識システム協会
一般社団法人 全国警備業協会
NPO法人 全国万引犯罪防止機構
関西万引対策連合会
一般社団法人 リテールAI研究会
タグ&バック事務局
一般社団法人 ロスプリベンション協会

お蔭さまで全会員数が58組織になりました。(2023年2月3日現在)

JEAS委員会組織

カメラ画像安全利用推進委員会

委員長・副会長 三宅 正光



推奨顔認証システム
ステッカー

小売業や物流現場のカメラ画像の効果的な利用状況やセキュリティ対策を調べ、システム提供者側の販売指針を発表することで、カメラ画像の適切な利用促進に向けての環境整備を行う。平成28年度に「防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め」を制作。令和2年に推奨顔認証システム制度をスタートさせた。

技術基準委員会

委員長・事務局長 田丸 典億



EASステッカー

平成20年10月、EASと医療機器との干渉試験を実施することになり、その方法等の内容を検討し実施するために、技術基準委員会が設置された。

- ① 対ベースメーカー等との干渉実験
- ② 電磁界測定 ③ 電気用品安全法対応
- ④ 各種の基準作り

政策・研究委員会

委員長・理事 摺田 祐司



調査研究事業として、わが国における万引防止システムの普及推進のための必要な調査研究及び会員の基礎教育を行う。

JEASとして、取り上げるべき問題・課題の検討を行い、その結果を委員会の責任において、行政機関・関連団体・報道機関等に対し建議および提言・アピールを行う。

総務委員会

委員長・副会長 近江 元



工業会全般のスタッフ業務と工業会を司る。事務局と密接な関係を保ちながら主として次の業務を行う。会計、広報、渉外、規約の起案と見直し、他の委員会に所属しない業務を専門的に行う。国内情報・海外情報を広く収集し、必要に応じてそれらを取りまとめ、国の内外へ広報する。「15分間勉強会」や「業界で活躍する女性」が好評につきシリーズ化した。

理事会・運営委員会

会長・個人情報管理室長 稲本 義範 (総合防犯設備士、公認不正検査士、万引き防止責任者養成講座担当講師)

速報!

セミナー情報

詳しくはJEASの
Homepage & Facebookにて

- 2/28(火) セキュリティショー2023 JEASセミナー
「緊急指令!セルフレジ不正防止・レジ前万引を阻止せよ!」
- 6/2(金) JEAS通常総会・記念講演「ICT教育を小売業全体で実践!そして宇宙への道」

**JEASフェイスブック
ロス対策メルマガ**
好評配信中!

工業会 日本万引防止システム協会会報第38号

□発行日: 2023年2月13日 □発行人: 稲本義範
□発行: 工業会 日本万引防止システム協会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 7階
TEL: 03-3355-2322 FAX: 03-3355-2344
ホームページ <https://www.jeas.gr.jp/>
フェイスブック <https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/>
メルマガ <https://www.jeas.gr.jp/mail.html>
法人番号: 9700150096387

ご相談窓口について

工業会 日本万引防止システム協会では、万引防止システム全般に関するご相談の窓口を開設しております。
ご相談窓口では、皆様からのEAS機器等の万引防止システムに関するご質問、ご相談、苦情などをお受けしております。
ご連絡先は、左記の工業会 日本万引防止システム協会事務局宛となります。